

残席わずか

生成AIを使った要求定義技法と要件定義技法【会場】（4125238）

生成AIの出現によってあらゆる仕事の方法が変わることが予想されます。システムの要求定義、要件定義も例外ではありません。本セミナーは生成AIを使った場合の要求定義、要件定義技法の方法論(手順や仕事のしかた)を学ぶものです。

開催日時	2025年11月5日(水) 10:00-17:00会場	
JUAS研修分類	ITアーキテクト・システム企画・IT基盤(システム企画・要求定義)、データ・AI活用・技術動向(AI・新技術 検証)	
カテゴリー	IS導入（構築）・IS保守 専門スキル	
DXリテラシー	What(DXで活用されるデータ・技術)：デジタル技術	
講師	尾田友志 氏 (マネジメントテクノロジーズ,LLC 代表) 株式会社 日本エル・シー・エー 経営開発部 コンサルタント、青山監査法人/ プライスウォーターハウスシニアマネージャー、日本マンパワーバリューマネージャー養成講座 主任講師、中央青山監査法人/PricewaterhouseCoopers ディレクターを経て、現職。スターティア株式会社 社外取締役(兼務)。 ＜専門分野＞経営工学(統計・オペレーションズリサーチ)・財務・管理会計 JUASオープンセミナー「ビジネスモデル構築の作業ステップと手法」、「仕様変更を最小限に抑えるヒアリング技術」、「外部データ（公共オープンデータ等）収集と分析・活用方法」など講演多数。	
参加費	J U A S 会員/ITC：35,200円 一般：45,100円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】	
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（NBF東銀座スクエア2F）	
対象	情報システム部門において要求定義、要件定義を担当されている方 中級	
開催形式	講義・個人演習	
定員	30名	
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）	
特記	※生成AIを使った講師によるデモンストレーションを行います。演習はありません。 ※実務でも使える記入フォーマット・チェックリスト等を配布します。	
ITCA認定時間	6	

主な内容

■受講形態

会場のみ（オンラインなし）

■テキスト

当日配布

■開催日までの課題事項

特になし

生成AIの出現によってあらゆる仕事の方法が変わることが予想されます。

システムの要求定義、要件定義も例外ではありません。

本セミナーは生成AIを使った場合の要求定義、要件定義技法の方法論(手順や仕事のしかた)を学ぶものです。

◆主な内容

1. 要求定義・要件定義で生成AIをつかう

・ 要求定義から要件定義書作成までのステップ確認

・ 生成AIの特徴、どのような活用ができるか

2. 要求の把握フェーズ

・ 既存システムの把握と整理

・ ヒアリングの準備

- ・[デモンストレーション]ヒアリング音声から議事録を作成する
- ・[デモンストレーション]As-Isフローの自動作成
- ・ユーザーの要望、問題意識から課題一覧表を作成する技法

3. 要求分析フェーズ

- ・業務要求
- ・生成AIでユーザーの要求を分類する
- ・要求の背景や真意を分析し、生成AIで整理する
- ・機能要求
- ・要求に対応するシステム機能の候補を、生成AIに提案してもらう
- ・作成支援に使えるAIプロンプト例
- ・生成AIを使った機能要求記述のドラフト作成方法
- ・(Figma形式で画面のワイヤーフレーム構成案を出力する)
- ・非機能要求
- ・非機能要求のヒアリングのための業種別質問集の作成プロンプト
- ・会議メモ、録音から、生成AIで非機能的な項目を抽出する
- ・生成AIで要求の分類、整理を行う(一覧表への自動入力)

4. 要件定義書の作成フェーズ

- ・[デモンストレーション]要件定義書の構成を作る
- ・要件定義書の内容を入力、アップロードして完成させる

※生成AIを使った講師によるデモンストレーションをします。演習はありません。
※実務でも使える記入フォーマット・チェックリスト等を配布します。